

第一部セミナー講師紹介

第一部では、長年コアジサシの調査に携わられている、日本野鳥の会自然保護室の奴賀俊光氏をお迎えして、コアジサシの生態などについてお話しいただきます。



奴賀 俊光 (ぬか としみつ)

千葉県山武市出身。千葉大学大学院自然科学研究科博士前期課程生命・地球科学専攻 修了（砂浜のシギ・チドリ類の採食生態について調査研究）。民間の環境コンサルタント会社での猛禽類調査、一般鳥調査などを経て、2017年4月から日本野鳥の会 横浜自然観察の森レンジャー、2021年4月から日本野鳥の会自然保護室モニタリングサイト1000（森林・草原）陸生鳥類調査事務局を担当。NPO法人リトルターン・プロジェクト理事、NPO法人バードリサーチ嘱託研究員なども兼任し、コアジサシの営巣調査にも長年携わる。生物分類技能検定1級動物部門（鳥類専門分野）取得。

第二部 保護設備の設置に向けて

昨年、アジュール舞子には、最大約300羽のコアジサシが飛来してヒナも生まれましたが、天敵による襲撃が重なり、残念ながら繁殖が失敗に終わりました。今年は天敵から卵やヒナを守るための対策を強化するため、日本野鳥の会の各支部でコアジサシ保護活動に携わっている方々からのアドバイスを頂きながら、スタッフ全員で検討を重ねてテストも行なっています（3月現在）。

イベント当日は、参加者の皆さまにも無理のない安全な範囲で作業をお手伝いいただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

コアジサシとアジュール舞子について

コアジサシ（カモメ科アジサシ属、英語名little tern[リトルターン]）は、環境省の第5次レッドリストで絶滅危惧IB類(EN)、神戸版レッドデータ2020でBランクに位置付けられている希少な渡り鳥（夏鳥）です。繁殖のために5月頃から日本に渡り、海岸や河川の砂浜、砂利地などの「裸地」で集団繁殖を行います。

繁殖に適した海岸や河川の裸地や砂利地が減少していることに加え、代わりとなる荒地や埋立地も結局は開発されてしまうことから、個体数を減らしています。

日本にはいくつか繁殖地がありますが、やはり開発などによりその場所が消失することも少なくありません。また、その土地の管理者との交渉に毎年苦勞されている地域もあります。そのような中、海浜公園及び海水浴場でもあるアジュール舞子は、開発の可能性も比較的少なく、また公園事務所の方々も保護活動に協力的で、大変恵まれた場所と言えます。

その反面、アクセスのしやすさから多くの観察者やカメラマンが訪れるため、無意識のうちに繁殖を妨げる行為が発生したり、天敵による襲撃も絶えないことから、必ずしも安全な場所とは言えません。恵まれた場所であるからこそ、安定的に繁殖が成功できる場所にしていきたいと思えます。

主催：日本野鳥の会ひょうご
共催：兵庫県立舞子公園
協力：アジュール舞子、阿久津樹脂工業

お問合せ：日本野鳥の会ひょうご
TEL: 078-382-0489
第5土曜日を除く毎週土曜日13時から17時まで